

# インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報に記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) カナガワダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) ウラガミ タクヤ
神奈川大学	経済学部	浦上拓也ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) チームウラガミ	フリガナ) コバヤシ シュンスケ	8	無
チーム浦上	小林 俊介		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール (具体的に使用するツールを明記してください)
レーザーポインタ

研究テーマ (発表タイトル)
ブラックバイトの実態と解決策

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

## 1. 研究概要 (目的・狙いなど)

近年、ブラックバイトがニュースなどで取り上げられており、社会的問題となっている。私たちの周りでもブラックバイトの経験をしている人が多く、学生の無知や立場の弱さに漬け込むような形で違法行為が当たり前のように行われている。学生が学生らしい生活を送ることを目的としてブラックバイトについて考察する。

## 2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

学生に対して今まで経験したアルバイトについてアンケートを取った結果、コンビニ、塾、スーパーマーケット、居酒屋、ファストフードの順に沿って比率が高いことが分かり、商業・サービス業が大半を占めている。また、2015年の厚生労働省が全国の大学生等に対して行ったアルバイトに関する意識等調査では、1000人のうち半分以上が「労働条件等で何らかのトラブルがあった」と回答しているため、身近にもブラックバイトが存在すると考えられる。学生が経験しているアルバイトの大半を占める商業・サービス業では、『人手が足りないから』『今は繁忙期だから』という理由でシフトを入れられる。「特に深夜は普段2～3人で回す部分を1人でまわさなければならない。」「休憩時間が勤務時間に伴っていない。」といったような問題が起きている。この問題についてインタビューを行った結果、「人手不足」「人件費削減」「法的に違反・一時的な経営者側の主観」という部分が浮き彫りになった。問

題が起こる原因として、①非正規雇用者の増加②人件費削減のための少人数店舗運営が行われおり、特に深夜など人がいない時間帯は売上高人件費率を低くしようとする狙いから、雇用者 1 人あたりの負担が大きくなっている事が挙げられる。③休憩時間が取れないほど店舗運営が困窮している。これらから経営者が知識のない学生を利用していると考えられる。また、長時間労働や出勤回数が多くなると睡眠不足などで授業に集中しにくくなるケースが増えるため、学業との両立ができなくなることがわかる。だが、時間的余裕や経済的な問題により学生が自らアルバイトに時間を割こうとするため、問題とわかっていても納得してしまう。

### 3. 研究テーマの課題

学生は特に「人手が足りなくて君がいないと仕事が回らない」などという理由で勝手にシフトを入れられたり、管理責任業務などの大きな仕事を任される経験をすることがある。それは学生の社会経験乏しく、かつ頼りにされることで仕事へのやりがいを感じやすい傾向からであり、その結果、学生は責任感を負いやすく、企業にとっては使い勝手のよい人材になってしまう。この問題の他にも大学生活で使う費用を稼がなければならないなどの経済事情によって学生自らがアルバイトに時間を費やしてしまう。このような学生の意味に対して、経営者側は低賃金かつ使い勝手のよい人材を求めるため、学生の意思と経営側の意図は当初一致している。雇用年数が増えると、学生側は責任感を感じて自らブラックバイトに踏み入れてしまい、経営者側は給与が発生しない仕事や勤務時間外の労働を求めるようになるが、最終的に学生側と経営者側の考えは一致したままであることが問題である。

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

これらの問題に対しての解決策として、ブラックバイトユニオンの活用を推奨する。しかしブラックバイトユニオンの知名度は 20%程度と低く、まずは多くの人に認知してもらうことが大切であり、団体の質の向上・環境の改善を行うべきだ。そのほかに学生が責任感を負い過ぎないために、普段の日常会話の中で親や友達に自分の仕事の話をし、他人からの評価を聞くことで自分では気づけない部分に気づくことができ、自分の仕事に対する不信感や違和感を抱ききかけを作ることを提案する。

### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

横浜市内の個人経営の某居酒屋オーナーへインタビューを行った。①シフトを勝手に入れられる理由②深夜業務を 1 人で負かされる理由③長時間労働に対して休憩時間が圧倒的に短い理由について質問をした。

ブラックバイトユニオンに電話をした。

### 6. 結果や今後の取り組み

今回の研究を通して社会的問題であるブラックバイトについて知ることができ、学生がバイトに対して責任感を負いすぎることによって本来の学生らしい生活が送れない現状が明らかになった。そこで学生がブラックバイトユニオンなどの機関や学校を使い、ブラックバイトに対する解決策や知識が向上できるように働きかけたい。この内容の中でも掘り下げて調べられるところはあると思うので、これからも調査や研究を続けていきたい。

### 7. 参考文献

- ・『学生バイトが危ない』 今野晴貴 岩波新書 2016 年 4 月
- ・『正規・非正規雇用者の長期的推移』 総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/info/today/097.htm>
- ・ブラックバイトユニオン公式ホームページ <http://blackarbeit-union.com/>
- ・朝日新聞 2015 年 4 月 29 日  
<http://www.asahi-kosei.com/wp-content/uploads/2015/04/2015-04-29.jpg>

#### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経 BP マーケティング社様に作製していただく大会結果 HP に本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

できます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

---

**↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、提出してください**